

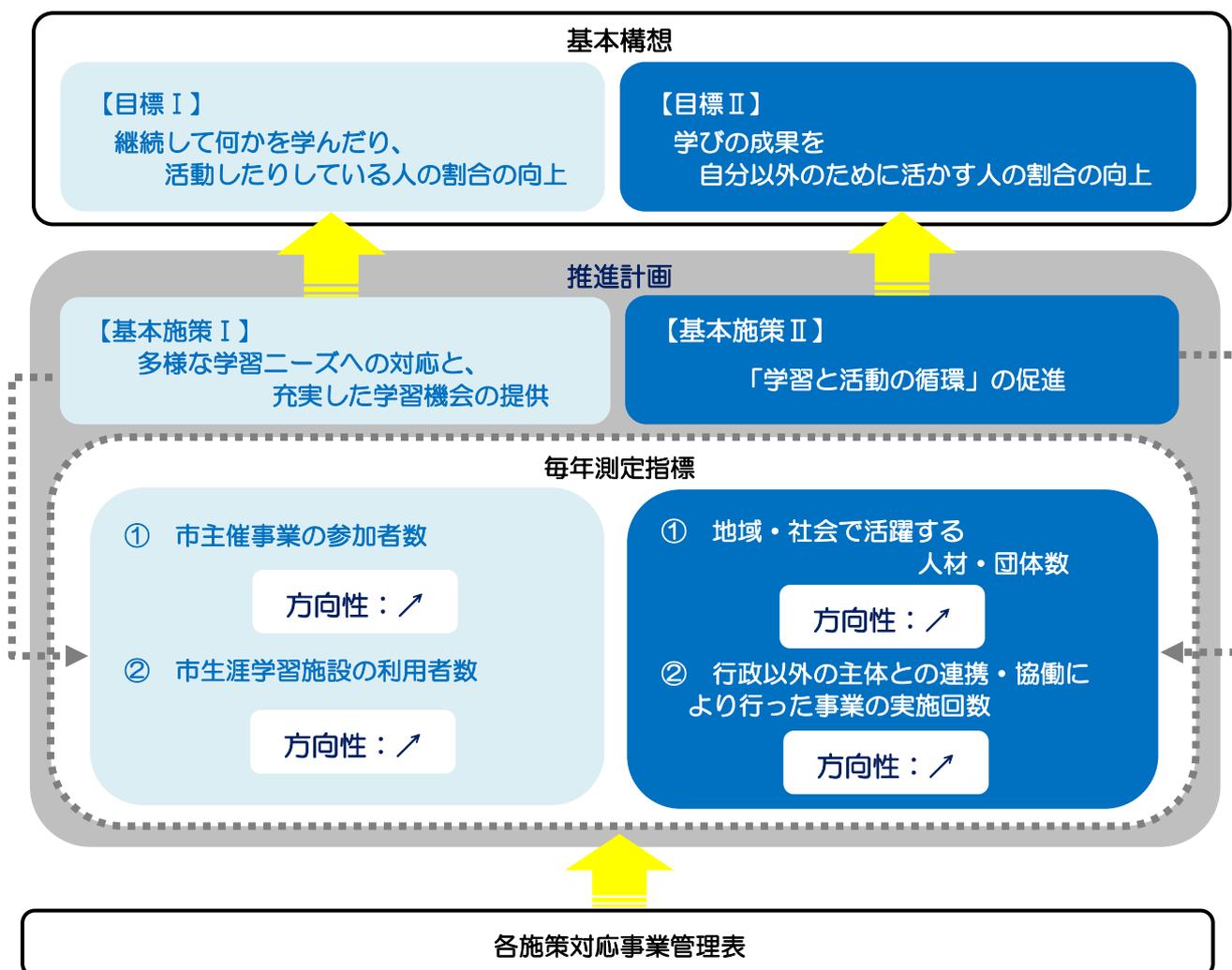
Ⅲ. 船橋市生涯学習推進計画

1. 概要

推進計画では、基本構想で定めた「目標」を達成するための「基本施策」「施策」「取組」を整理しました。内容の検討にあたっては、第二次一番星プランの評価と「生涯学習に関するアンケート」の結果を主な資料とし、その他「第3期教育振興基本計画」や「第10期中央教育審議会生涯学習分科会における議論の整理 多様な主体との協働とICT⁶の活用で、つながる生涯学習・社会教育 ～命を守り、誰一人として取り残さない社会の実現へ～」等の中央教育審議会の答申等を参酌しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大のような不測の事態の発生により、取り組むべき事業の追加や優先順位の変更等が生じることが考えられます。そのような際に柔軟に対応していくため、推進計画内には、各施策に対応する事業の位置づけは行わず、別途「各施策対応事業管理表」（以下、「事業管理表」という。）を作成し、管理していきます。そのため、推進計画全体の進捗状況を毎年点検することを目的として、基本施策Ⅰ・Ⅱのそれぞれに毎年測定が可能な指標とその方向性を設定し、結果を社会教育委員会議に報告します。

また、事業管理表についても、同様に報告し、意見聴取の結果を事業の所管課へフィードバック、また、指摘・提案事項等に基づいて事業管理表の更新をしていきます。



⁶ 「ICT」 Information and Communication Technologyの略で、情報通信技術のこと。IT（Information Technology：情報技術）」とほぼ同義であるものの、コンピューター技術の活用に関するものをICTとして区別される場合がある。

2. 市における生涯学習の現状と課題

(1) 第二次一番星プランの成果

第二次一番星プランでは、各施策に対応する事業について、以下の評価区分を使用して各事業の進捗状況を管理しました。

ここでは、施策ごとに「AまたはB評価」とした事業の割合を算出して方策全体を評価し、第二次一番星プランの成果を検証しました。

※令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により事業の実施が困難であったことから、「新型コロナウイルス感染症への対応」に重点を置いた評価区分に変更して評価を行ったため、令和元年度の評価を使用します。

【評価区分】

- A：目標に対し達成度が非常に高い。数値目標の場合、80%以上
- B：目標に対し達成度が高い。数値目標の場合、60%以上80%未満
- C：目標に対し達成度がやや低い。数値目標の場合、40%以上60%未満
- D：目標に対し達成度が低い。数値目標の場合、40%未満

■第二次一番星プランの重点目標

I 生涯を通して自分らしく学び続けよう

生涯を通して学ぶことで、私たちは生活のうるおいや生きがいだけでなく、生きる上で必要なことを、自らの意思によって身につけることができます。

多くの人との出会いや交流を深め、新たな発見、生きがいや多くの仲間を得ることができます。生涯を通して、自分らしく学び続ける喜びを大切にしましょう。

II 学びで得た成果を地域に生かしてつながろう

今まで培ってきた個人の技術や知識はもちろん、学びで得た成果は自らの生活だけでなく、サークルや自治会、ボランティアなどの活動を通して、多くの機会に地域で生かすことが重要です。

地域社会を見つめなおし、自らの居場所づくり、仲間づくりを通して、より多くの人々とのふれあい、つながり、自らの学びの成果を生かすことができる生涯学習社会を目指しましょう。

■第二次一番星プランの施策の展開と評価

方策1 社会の状況に対応した自分探しの学びを応援します

急速かつ複雑に変化している現代社会において、その時々課題に柔軟に向き合い、うるおいと生きがいのある自分探しの学びができるよう、学習機会の提供・充実に努めます。また、ライフステージ全体を対象にした多様な学習メニュー・機会を提供することで、市民の学びを応援します。

施策		AまたはB評価の割合 (令和元年度)
1	健康を保持するための学習機会の提供	100.0%
2	自然との共生を育むための学習機会の提供	83.3%
3	国際人を養成するための学習機会の提供	100.0%
4	情報化社会への対応力を高めるための学習機会の提供	100.0%
5	家庭の教育力を高めるための学習機会の提供	100.0%
6	現代的課題に対応した消費者の学習機会の提供	100.0%
7	人材育成と仲間づくりを目指す総合的な学習機会の充実	100.0%
8	ライフステージに応じた学習機会の提供	96.0%
9	世代間交流の推進	87.5%
10	スポーツ・レクリエーションの充実	100.0%
11	芸術文化活動の推進	100.0%
12	ノーマライゼーションの実現に向けての学習機会の充実	66.7%
13	人権意識を高めるための学習機会の充実	75.0%
14	男女共同参画社会に向けての学習機会の提供	66.7%

令和元年度は、対応する事業の**92.1%**が「AまたはB評価」であり、方策全体としては順調に推進できました。

しかし、**施策12「ノーマライゼーションの実現に向けての学習機会の充実」・施策13「人権意識を高めるための学習機会の充実」・施策14「男女共同参画社会に向けての学習機会の提供」**については、「AまたはB評価」の割合が低くなっており、引き続き取り組みが必要であると考えられます（→**第三次一番星プラン（推進計画）における対応施策：I-2-3「人権尊重・多文化共生のための学習機会の提供」（43ページ）**）。

方策2 地域のみんなで学校を応援します

子供をめぐる状況は、いじめ、不登校、インターネットをめぐる問題や、保護者の過保護、子供に対する無関心、地域と子供の関わりが少なくなってきたことなど、多様な課題が発生し、複雑かつ深刻化しています。このようなときこそ、心身ともに健全で心豊かな子供の育成を図るために、学校・家庭・地域が一体となって子供を守り育てることが重要です。地域の人々が各々の持てる技術や能力を生かし、地域全体で学校を応援します。

施策		AまたはB評価の割合 (令和元年度)
1	家庭や地域における学校外活動の充実	100.0%
2	地域との連携による家庭教育の充実	100.0%
3	学校を地域全体で支援していく体制の推進	100.0%
4	地域や異年齢集団とかがかわる機会の充実	50.0%
5	地域における学校施設のあり方	100.0%
6	学校をめぐる現代的課題に向けての取り組み	-
7	大学や高等学校との連携協力	100.0%

令和元年度は、対応する事業の95.3%が「AまたはB評価」であり、方策全体としては順調に推進できました。

しかし、施策4「地域や異年齢集団とかがかわる機会の充実」については、「AまたはB評価」の割合が低くなっており、引き続き取り組みが必要であると考えられます（→第三次一番星プラン（推進計画）における対応施策：Ⅱ-2-1「地域課題に関する取組の推進」（50ページ）・Ⅱ-2-3「地域における交流機会の創出」（51ページ））。

また、施策のうち、「施策6 学校をめぐる現代的課題に向けての取り組み」は、対応する事業が紐づけられず、施策の進捗管理ができなかったことから、第三次一番星プラン（推進計画）では、対応事業管理表において事業を管理し、施策を推進していきます。（→第三次一番星プラン（推進計画）における対応施策：Ⅰ-1-3「困難を抱える子供への学習支援」（38ページ）・Ⅱ-2-2「家庭と地域の教育力向上のための取組の推進」（51ページ））。

方策3 充実した生涯学習の環境づくりを目指します

市では、市民の学びの機会がより身近になるよう、生涯学習にかかわる環境を整備し、施設開館日の増加や電子予約システムの導入、学校開放の促進などに努めてきました。今後とも、多様なライフスタイルや情報化に応える質の高いサービスを提供するため、公民館、図書館、文化ホール、博物館、青少年施設や体育施設、学校等を、より充実した市の生涯学習施設とする環境づくりを目指します。

施策		AまたはB評価の割合 (令和元年度)
1	学習情報の一元化と情報のネットワーク化	100.0%
2	多様な情報メディアの活用	100.0%
3	ライフステージに応じた情報提供	100.0%
4	学習相談体制の整備・充実	100.0%
5	公民館の整備・充実	0.0%
6	図書館サービス網の整備・充実	100.0%
7	生涯学習関連施設間等の連携・充実	100.0%
8	生涯学習施設の防災機能強化	-
9	総合的な生涯学習推進体制の充実	-

令和元年度は、対応する事業の**97.4%**が「AまたはB評価」であり、方策全体としては順調に推進できました。

※「**施策5 公民館の整備・充実**」は、対応する事業が「公民館建替事業」となっています。公民館の建替や大規模改修等については、市が別途策定している「船橋市公共建築物保全計画」で管理を行っているため、第三次一番星プラン（推進計画）においては対応する施策を設けていません。なお、公民館のソフト面の整備・充実については、**I-3-4「生涯学習施設の充実」**（48ページ）が対応施策となります。

※「**施策8 生涯学習施設の防災機能強化**」は、主に「備蓄品・通信設備の整備の推進」や「非常時に向けての職員訓練」を想定した施策となっていますが、ともに、市が別途策定している「船橋市地域防災計画」に位置付けているため、第三次一番星プラン（推進計画）においては対応する施策を設けていません。

※「**施策9 総合的な生涯学習推進体制の充実**」は、対応する事業が紐づけられず、施策の進捗管理ができませんでした。「総合的な生涯学習推進体制の充実」は、第三次一番星プランを推進する前提であることから、第三次一番星プラン（推進計画）においては対応する施策を設けていませんが、引き続き、全庁的な組織である「生涯学習推進本部」を設置し、生涯学習の推進を図っていきます。

方策4 地域の教育力の向上を目指します

平成23年3月に発生した東日本大震災を通して、船橋市に住む私たちもあらためて自然の力の大きさや、家族・地域の絆の大切さを再認識することとなりました。生涯を通して学ぶことは、自らの生きがいを見つけるだけでなく、このような自然災害に対応し、現代社会ならではの多様化した課題に向き合う姿勢にもつながるものです。このような時代に、学校・家庭・地域、そして行政が一体となってつながり、連携することが求められています。生涯学習を通して、人々のつながりを大切にしたい、地域の教育力の向上を目指します。

施策		AまたはB評価の割合 (令和元年度)
1	地域の生涯学習の推進	100.0%
2	ふるさと船橋について学ぶ機会の充実	100.0%
3	まちづくりに向けた学習機会の充実	100.0%
4	人材の養成・活用とネットワーク化	100.0%
5	生涯学習人材バンクの充実	100.0%
6	生涯学習を支援するための市職員派遣制度の充実	100.0%
7	地域における防災学習の充実	-

令和元年度は、対応する事業の **100.0%**が「AまたはB評価」であり、方策全体としては順調に推進できました。

しかし、施策のうち、「**施策7 地域における防災学習の充実**」は、対応する事業が紐づけられず、施策の進捗管理ができなかったことから、第三次一番星プラン（推進計画）では、対応事業管理表において事業を管理し、施策を推進していきます。（→**第三次一番星プラン（推進計画）における対応施策：Ⅱ-2-1「地域課題に関する取組の推進」（50ページ）**）。

(2) 「生涯学習に関するアンケート」結果（抜粋）

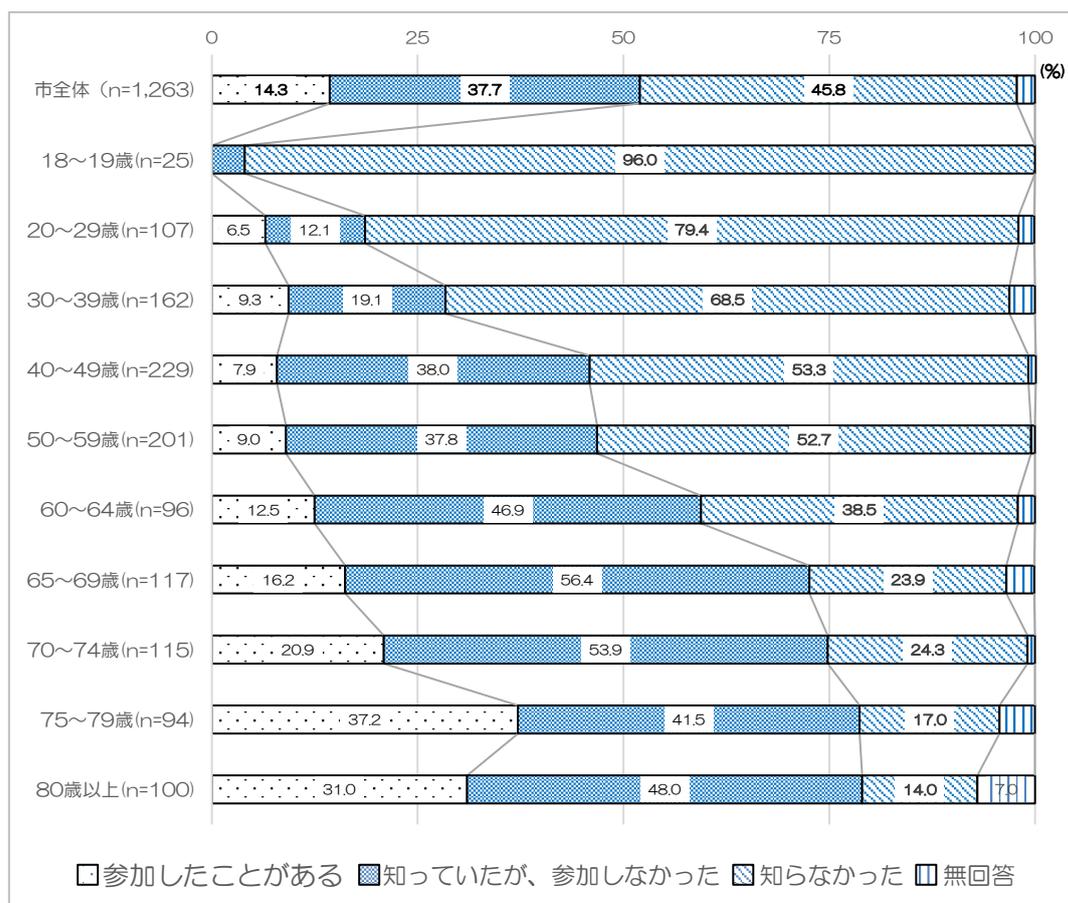
■結果の表示方法

- ① nは、基数となるべき実数であり、設問に対する回答者数です。各比率はnを100%として算出しました。
- ② 比率はすべて百分率で表し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、すべての選択肢の比率の合計が100%にならないことがあります。
- ③ 複数回答の設問では、すべての選択肢の比率の合計は通常100%を超えます。
- ④ 年代別で検討する際、年齢の回答が「無回答」については対象としていません。
- ⑤ 編集の都合上、選択された割合が5%未満の項目は、グラフ内に数字の表示を行っていない箇所があります。

【Q6】あなたは、この1年間に船橋市（公民館を含む）が主催した講演会・学習会・催し物に参加したことがありますか。（○は1つ）

直近1年間で市主催事業に参加したことがあるか聞いたところ、（市主催の講演会・学習会・催し物があることを）「知らなかった」が全体の45.8%と、半数近くの人に情報を届けることができていないことがわかりました。

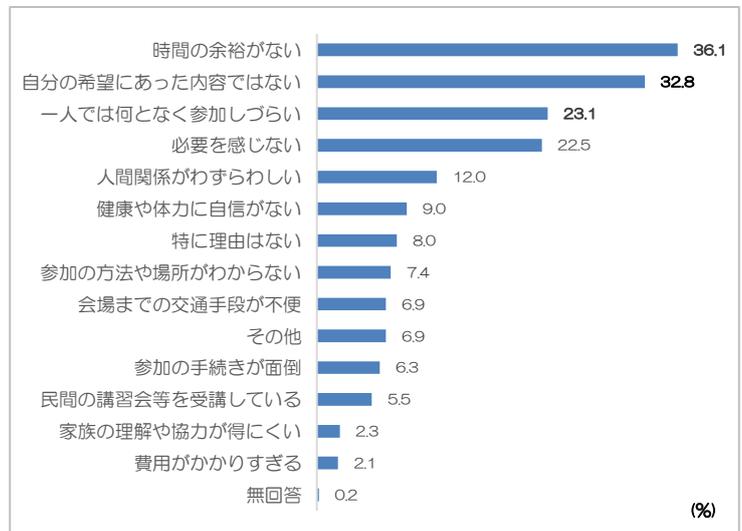
年代別にみると、年代が低くなるに従い、「知らなかった」の割合が高く、10～50歳代では50%を超えています。



【Q6-1】この1年間に船橋市（公民館を含む）が主催した講演会・学習会・催し物に参加しなかった理由は何ですか。（〇は3つまで）〈n=476〉

（Q6「あなたは、この1年間に船橋市（公民館を含む）が主催した講演会・学習会・催し物に参加したことがありますか。（〇は1つ）」で「2 知っていたが、参加しなかった」とお答えの方に）

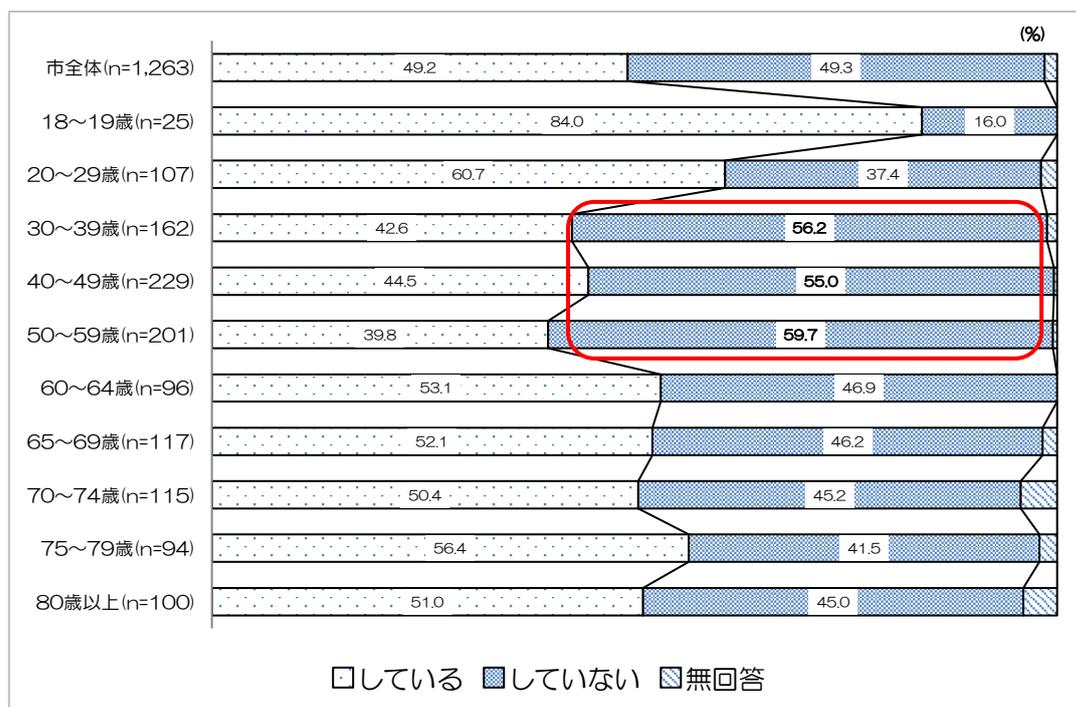
直近1年間で市主催事業に参加しなかった人に、その理由をきいたところ、「時間の余裕がない（36.1%）」「自分の希望にあった内容ではない（32.8%）」「一人では何となく参加しづらい（23.1%）」の順に多く選択されました。



【Q7】あなたは、現在、継続して何かを学んだり、活動したりしていますか。（〇は1つ）

現在継続して何かを学んだり、活動したりしているかきいたところ、市全体では、「している」の割合は49.2%、「していない」の割合は49.3%でした。30～50歳代では、「していない」の割合が55%を超えています。

「現在の生活への満足度別」にみたとき、「満足」と「やや満足」を合わせた「満足している人」と、「不満」と「やや不満」を合わせた「不満な人」を比較すると、「満足している人」の方が、継続的な学習・活動を行っている割合が高くなっています。



【現在の生活への満足度別】

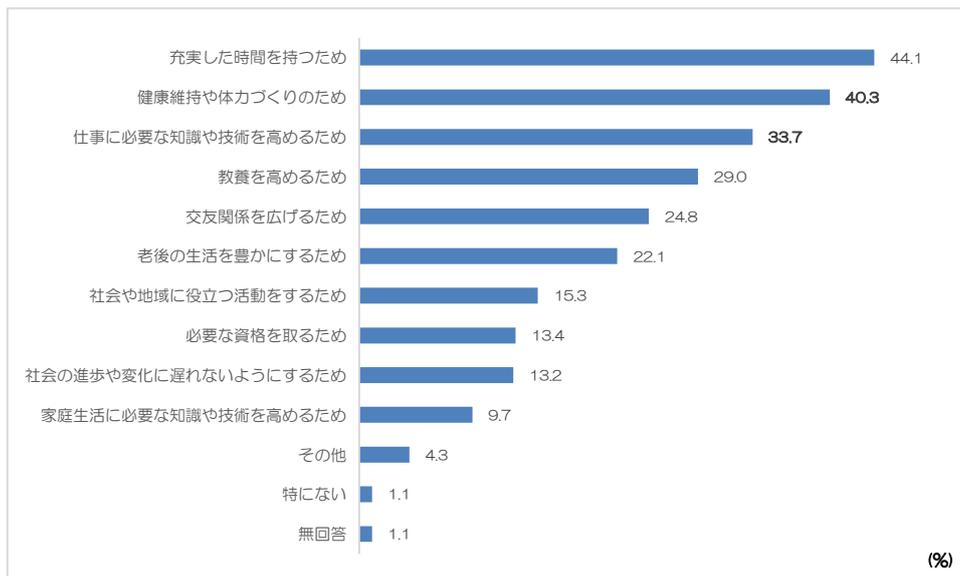


【Q7-3】あなたは、学習や活動をどのような目的で行っていますか。(〇は3つまで) <n=621>

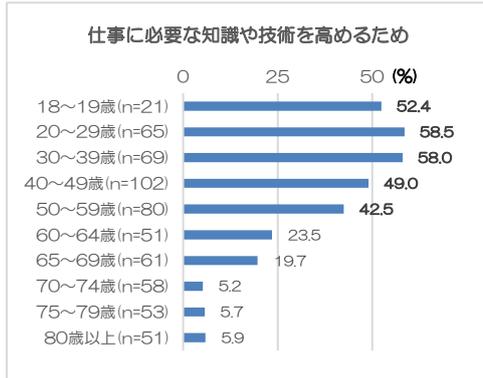
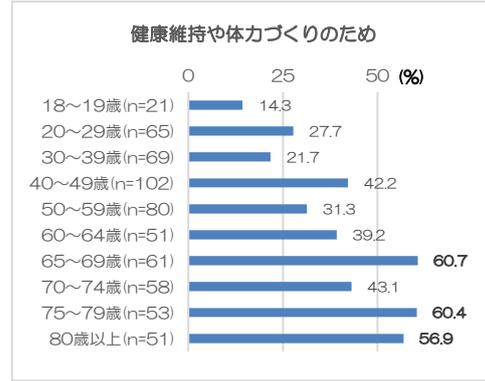
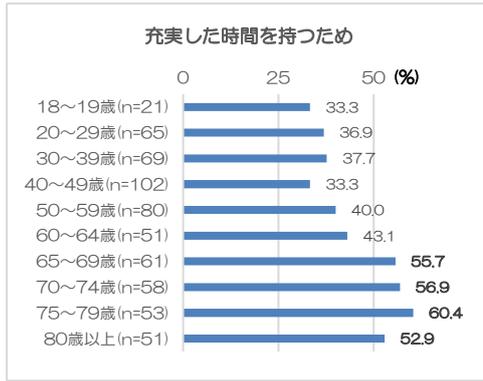
(Q7「あなたは、現在、継続して何かを学んだり、活動したりしていますか。(〇は1つ)」で「1 している」とお答えの方に)

現在継続して学習や活動を行っている人に、学習や活動をどのような目的で行っているか聞いたところ、「充実した時間を持つため(44.1%)」「健康維持や体力づくりのため(40.3%)」「仕事に必要な知識や技術を高めるため(33.7%)」の順に多く選択されました。

選択肢別にみると、「充実した時間を持つため」や「健康維持や体力づくりのため」は、比較的高い年代で選択され、「仕事に必要な知識や技術を高めるため」は10～50歳代で多く選択されました。



【選択肢別】

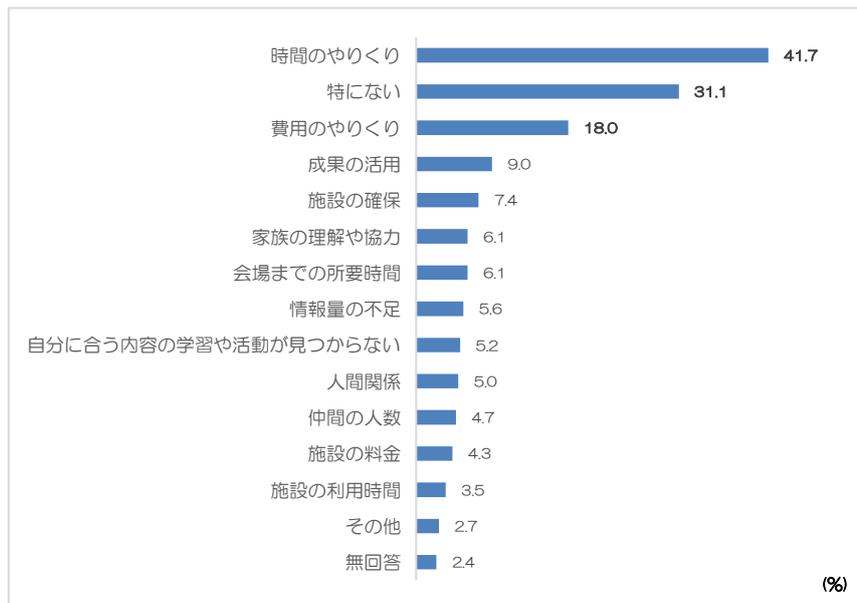


【Q7-7】あなたが、学習や活動を進めていく上で、困っていることはありますか。(〇は3つまで)

<n=621>

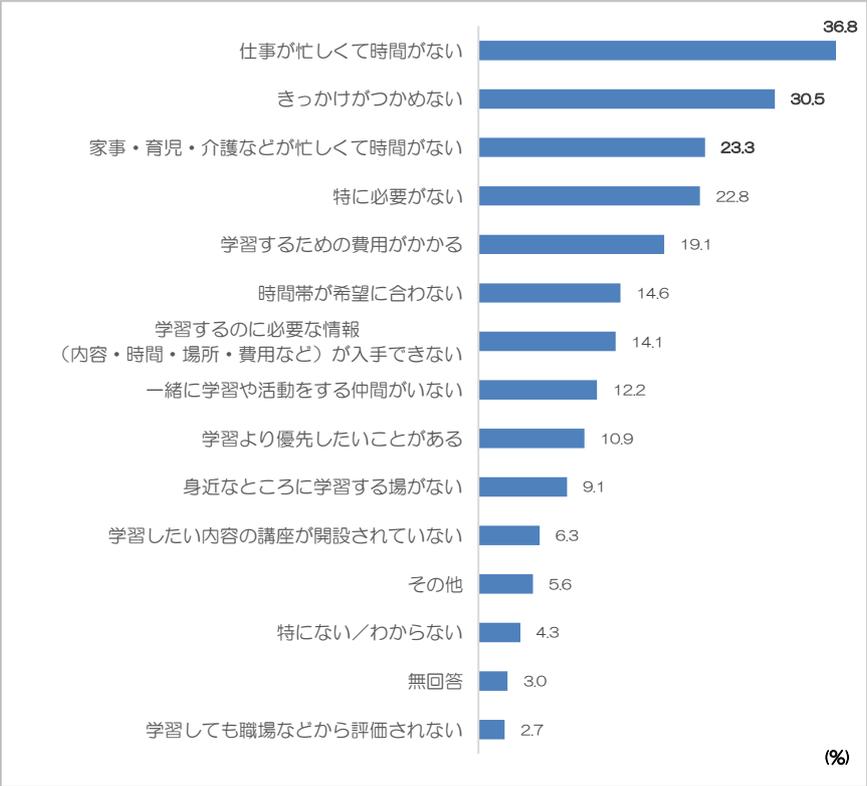
(Q7「あなたは、現在、継続して何かを学んだり、活動したりしていますか。(〇は1つ)」で「1 している」とお答えの方に)

現在継続して学習や活動を行っている人に、学習や活動を進めていく上で困っていることを聞いたところ、「時間のやりくり (41.7%)」「特にない (31.1%)」「費用のやりくり (18.0%)」の順に多く選択されました。



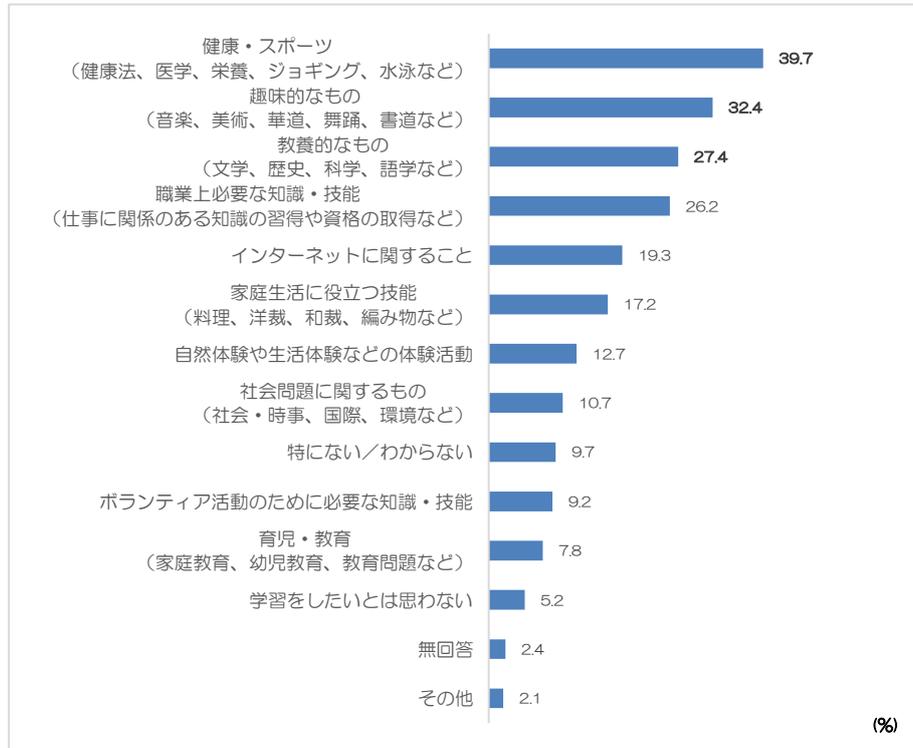
【Q7-8】あなたが、現在、学習や活動を行っていない理由は何ですか。（〇はいくつでも）＜n=623＞
 （Q7「あなたは、現在、継続して何かを学んだり、活動したりしていますか。（〇は1つ）」で「2 していない」とお答えの方に）

現在継続して学習や活動を行っていない人に、学習や活動を行っていない理由をきいたところ、「仕事が忙しくて時間がない（36.8%）」「きっかけがつかめない（30.5%）」「家事・育児・介護などが忙しくて時間がない（23.3%）」の順に多く選択されました。



【Q8】 今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。（〇はいくつでも）
 <n=1,263>

今後新たに学習をはじめるときに学習したい内容をきいたところ、「健康・スポーツ（39.7%）」が最も割合が高く、次いで「趣味的なもの（32.4%）」「教養的なもの（27.4%）」の順に多く選択されました。



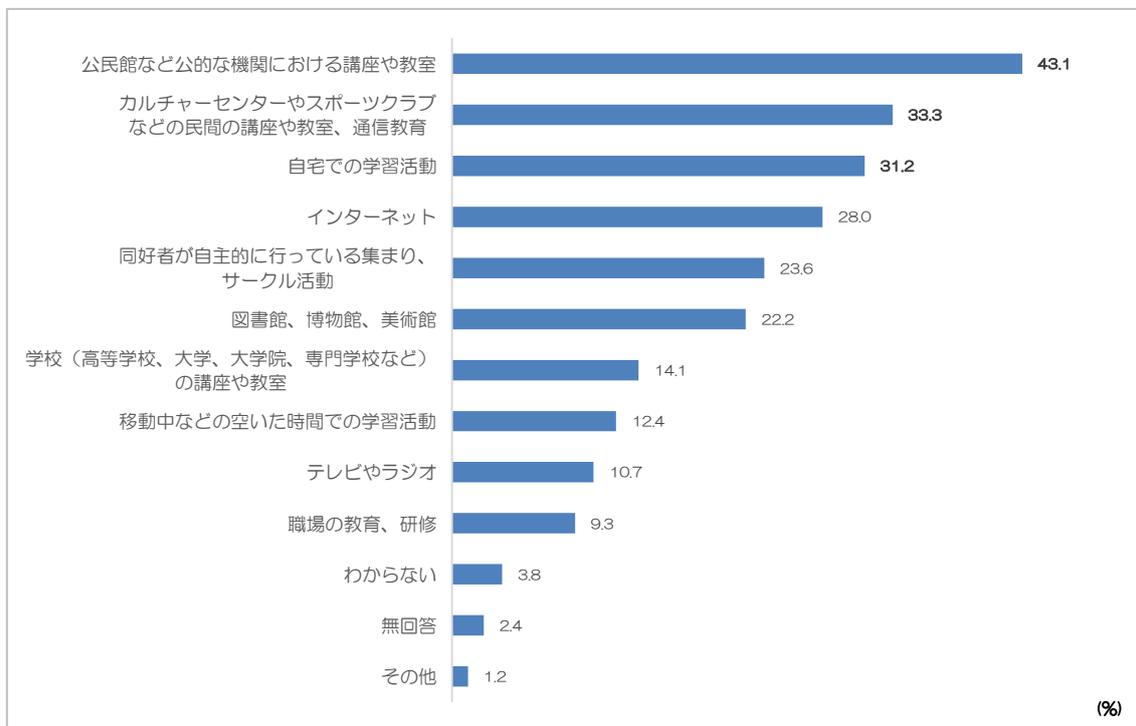
【Q8-1】あなたは、今後どのような形態や場所で学習したいと思いますか。(〇はいくつでも)

<n=1,045>

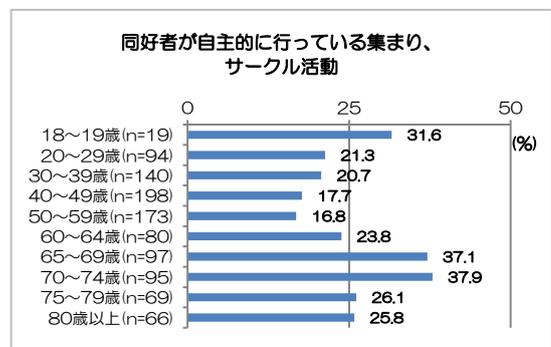
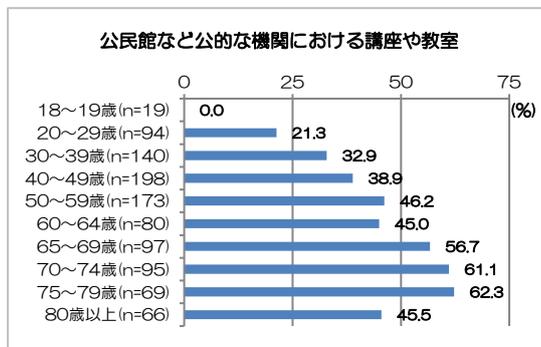
(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

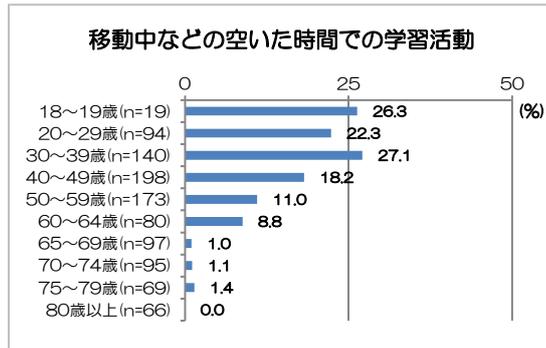
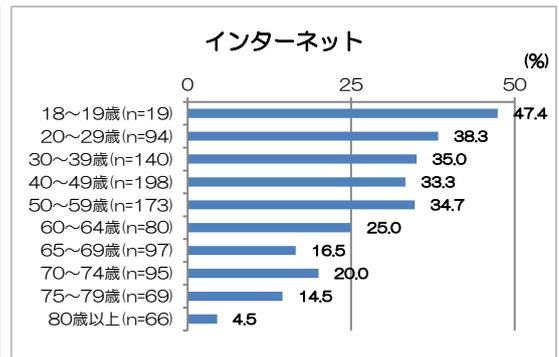
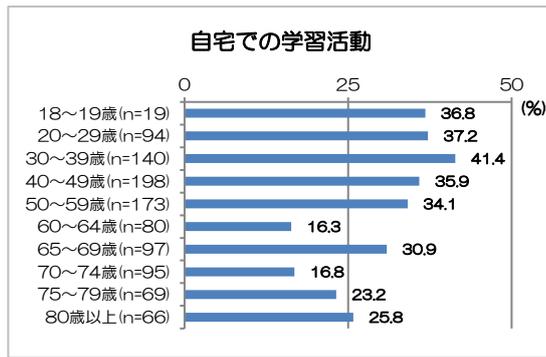
今後新たに学習をはじめたい内容がある人に、学習したい形態や場所をきいたところ、「公民館など公的な機関における講座や教室(43.1%)」が最も割合が高く、次いで「カルチャーセンターやスポーツクラブなどの民間の講座や教室、通信教育(33.3%)」「自宅での学習活動(31.2%)」の順に多く選択されました。

選択肢別にみると、「公民館など公的な機関における講座や教室」や「同好者が自主的に行っている集まり、サークル活動」等、集合して行う学習に関する選択肢は比較的高い年代で選択され、「自宅での学習活動」「移動中などの空いた時間での学習活動」「インターネット」等、個人で行う学習に関する選択肢は10～50歳代で多く選択されました。



【選択肢別】



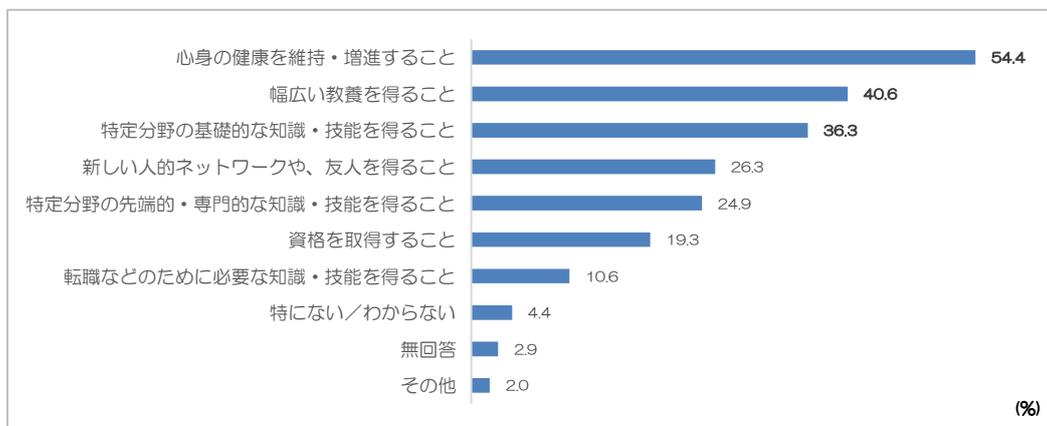


【Q8-2】これから学習するとき、どのような成果を期待しますか。(〇はいくつでも) <n=1,045>

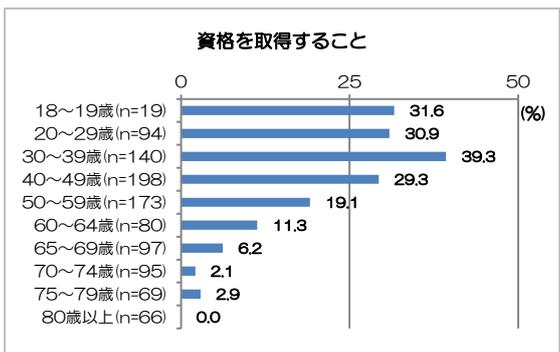
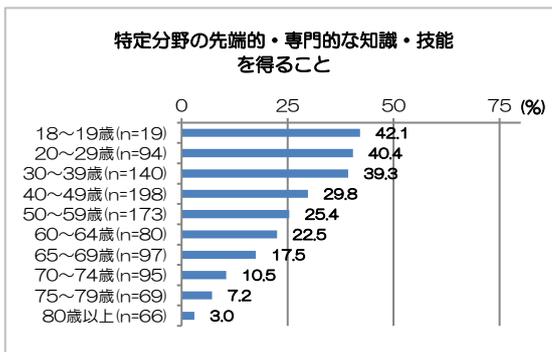
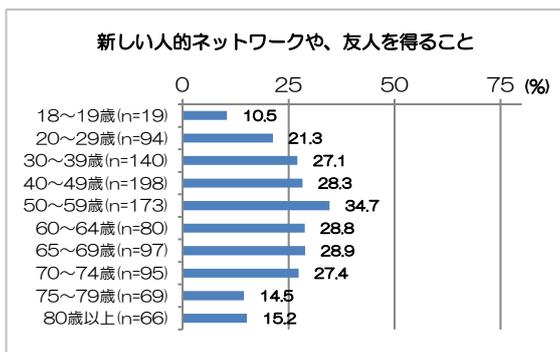
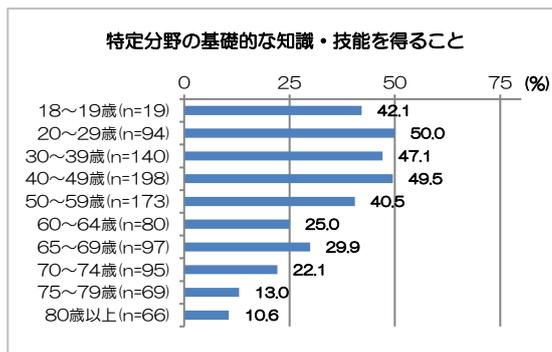
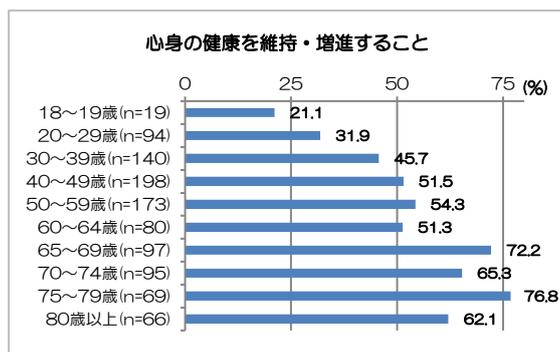
(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

今後新たに学習を始めたい内容がある人に、期待する成果をきいたところ、「心身の健康を維持・増進すること」が54.4%で最も割合が高く、次いで「幅広い教養を得ること (40.6%)」「特定分野の基礎的な知識・技能を得ること (36.3%)」の順に多く選択されました。

選択肢別にみると、「心身の健康を維持・増進すること」は、40歳代以降で50%を超え、特に60歳代後半以降で高い割合で選択されました。「特定分野の基礎的な知識・技能を得ること」「特定分野の先端的・専門的な知識・技能を得ること」「資格を取得すること」等、仕事に関係すると考えられる選択肢は20～30歳代を中心に選択され、「新しい人的ネットワークや友人を得ること」は50歳代で最も多く選択されました。



【選択肢別】

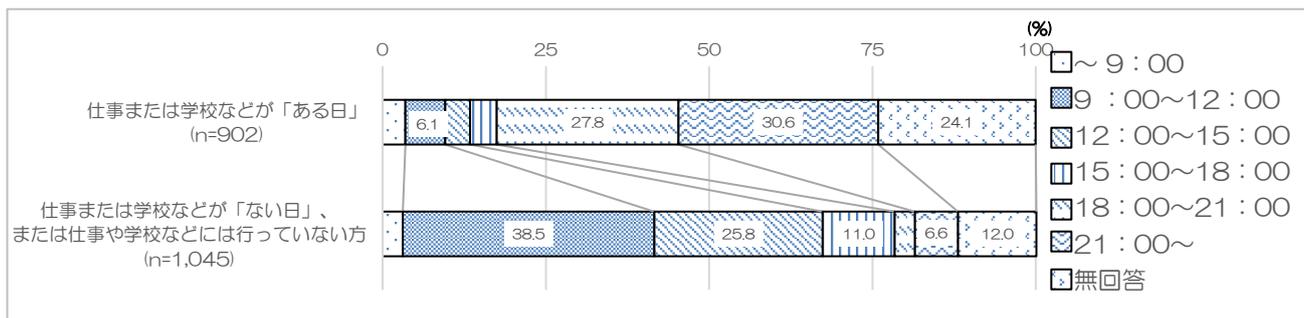


【Q8-3】あなたが、学習や活動をするのに最も都合がいい時間帯はいつですか。仕事または学校などが「ある日」と「ない日」についてお答えください。(○はそれぞれ1つ)

(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(○はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

今後新たに学習したい内容がある人に、学習や活動するのに最も都合がいい時間帯をきいたところ、仕事または学校などがある日は「21:00～ (30.6%)」「18:00～21:00 (27.8%)」、仕事または学校などがない日または仕事や学校などには行っていない人は「9:00～12:00 (38.5%)」「12:00～15:00 (25.8%)」が高い割合で選択されました。

※「仕事または学校などが『ある日』」の回答の選択肢には「仕事や学校などには行っていない」を含んでいますが、ここではその回答数をn数から除き、割合を算出しました。

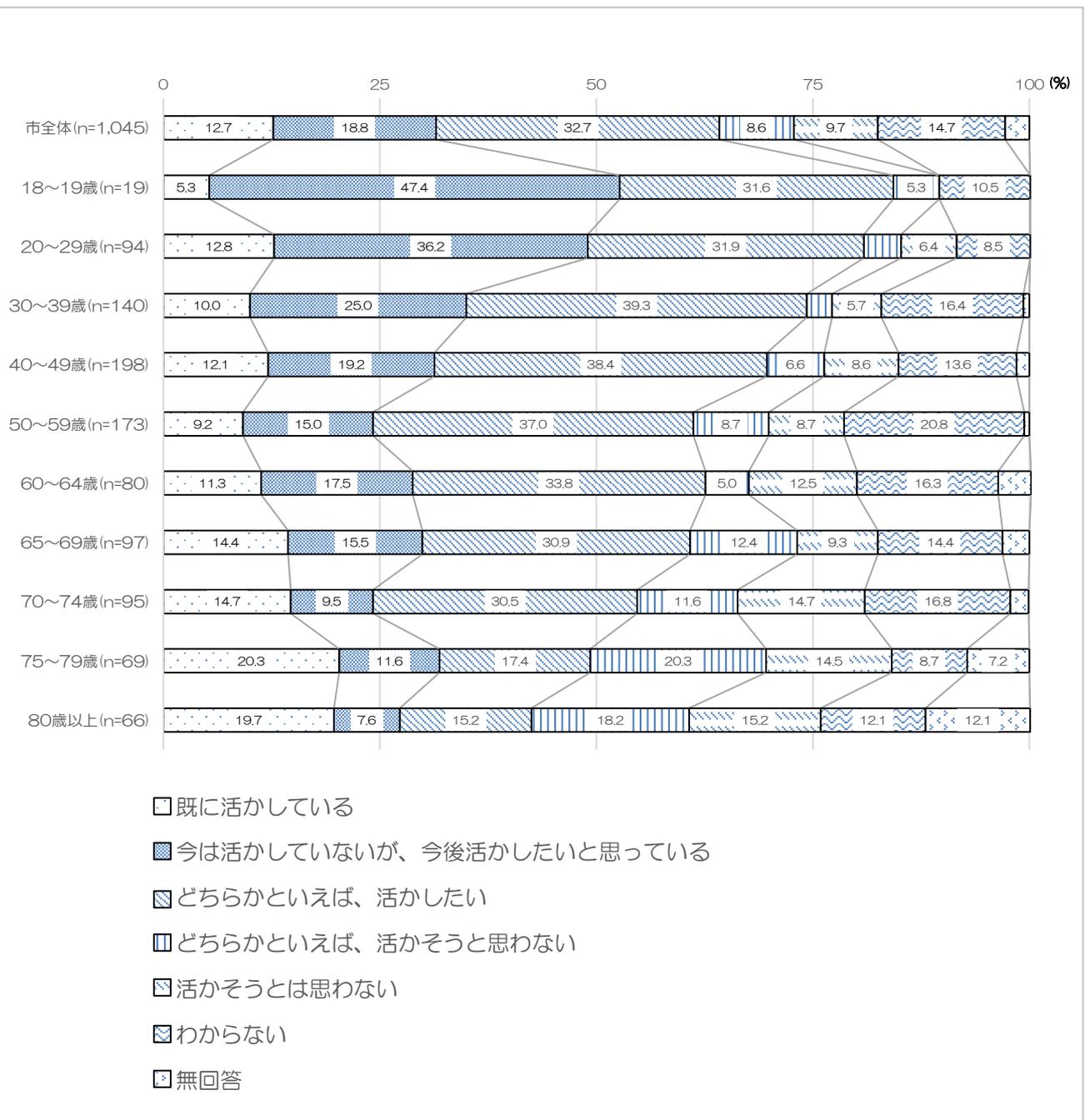


【Q8-4】あなたは、学びの成果を自分以外のために活かしたいと思いますか。(〇は1つ)

(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

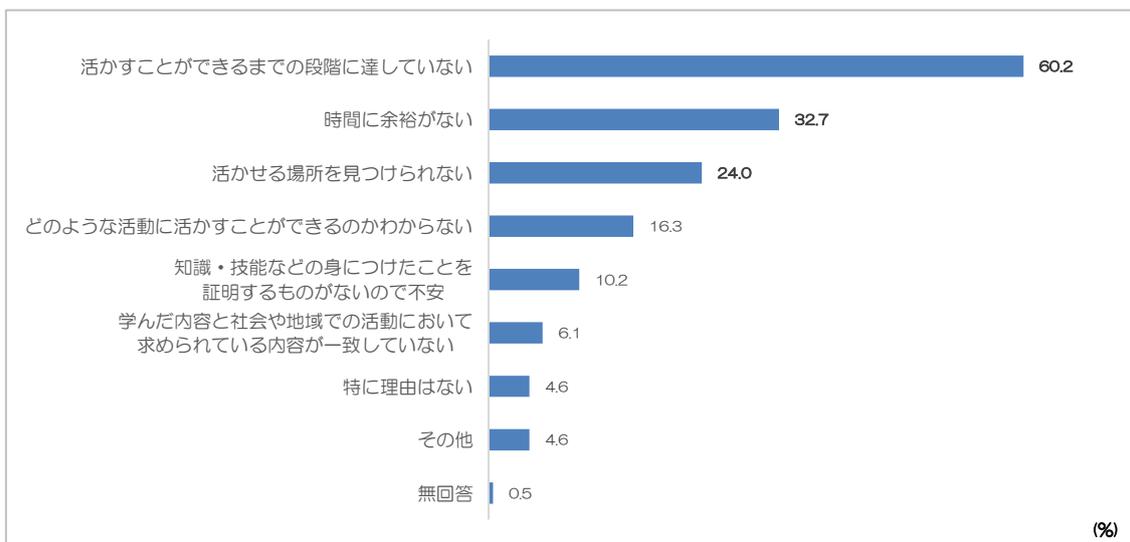
今後新たに学習を始めたい内容がある人に、学びの成果を自分以外のために活かしたいかきいたところ、市全体では、「どちらかといえば、活かしたい」が32.7%で最も割合が高く、次いで「今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている(18.8%)」「わからない(14.7%)」の順に多く選択されました。

年代別にみると、「既に活かしている」は年代が上がるにつれて割合が高くなる傾向がみられ、「今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」及び「どちらかといえば、活かしたい」の割合は年代が上がるにつれて下がる傾向がみられます。



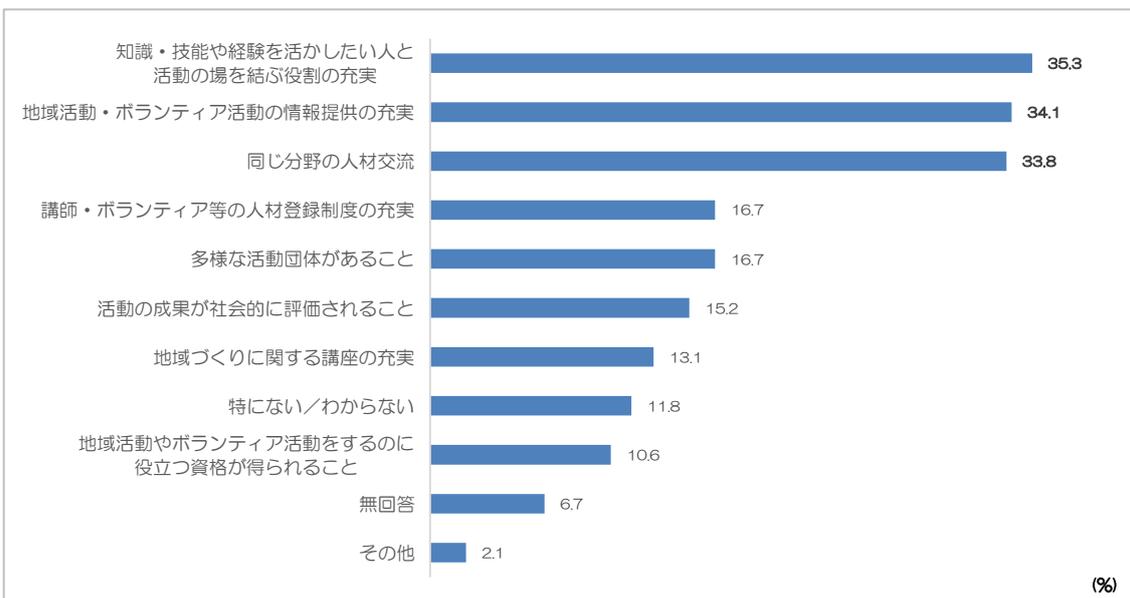
【Q8-6】 学びの成果を自分以外のために活かしたいにも関わらず、活かせていない理由は何ですか。(〇はいくつでも) <n=196>
 (Q8-4で「2 今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」とお答えの方に)

今後新たに学習を始めたい内容があり、現在は学びの成果を自分以外のために活かしていないが今後活かしたいと思っている人に、自分以外のために活かしたいと思っているにも関わらず活かせていない理由をきいたところ、「活かすことができるまでの段階に達していない」が60.2%で最も割合が高く、次いで、「時間に余裕がない(32.7%)」「活かせる場所を見つけられない(24.0%)」の順に多く選択されました。



【Q8-7】 あなたは、学びの成果を自分以外のために活かそうとする時、必要なことは何だと思いますか。(〇はいくつでも) <n=671>
 (Q8-4で「1 既に活かしている」、「2 今は活かしていないが、今後活かしたいと思っている」、「3 どちらかといえば、活かしたい」とお答えの方に)

今後新たに学習を始めたい内容があり、学びの成果を自分以外のために活かしたいと思っている人に、その際に必要なことをきいたところ、「知識・技能や経験を活かしたい人と活動の場を結ぶ役割の充実」が35.3%で最も割合が高く、次いで「地域活動・ボランティア活動の情報提供の充実(34.1%)」「同じ分野の人材交流(33.8%)」の順に多く選択されました。

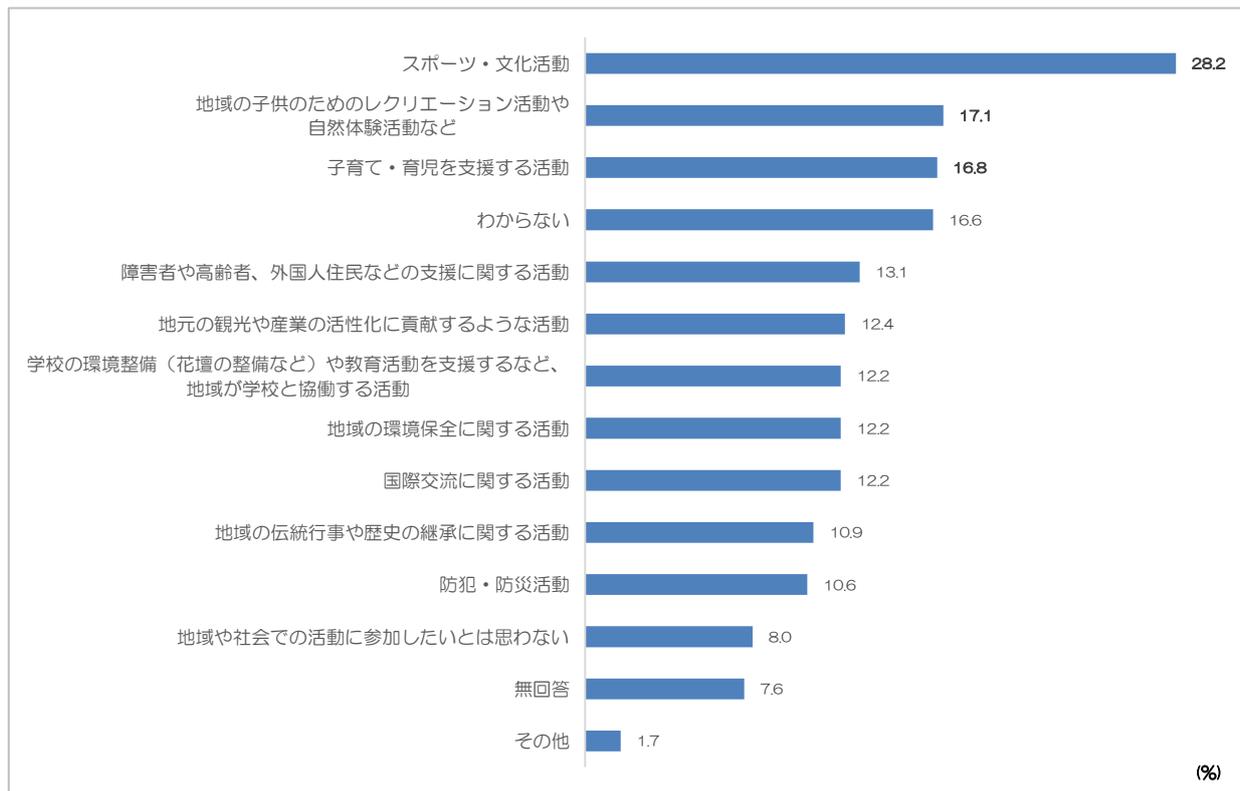


【Q8-9】あなたは、地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。(〇はいくつでも)

<n=1,045>

(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

今後新たに学習をはじめたい内容がある人に、地域や社会でそのような活動に参加したいかきいたところ、「スポーツ・文化活動」が28.2%で最も割合が高く、次いで「地域の子供のためのレクリエーション活動や自然体験活動など(17.1%)」「子育て・育児を支援する活動(16.8%)」の順に多く選択されました。

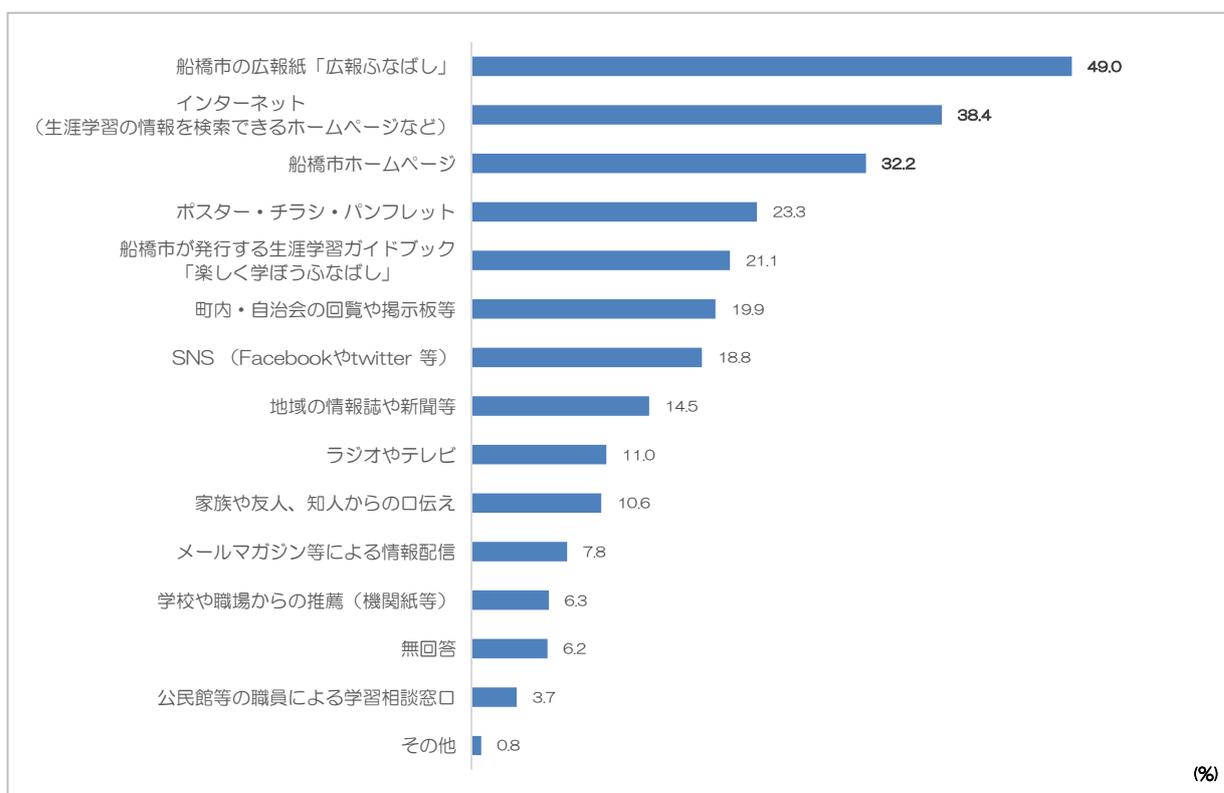


【Q8-10】あなたは、今後、生涯学習に関する情報をどのような方法で得られたら便利だと思いますか。(〇はいくつでも) <n=1,045>

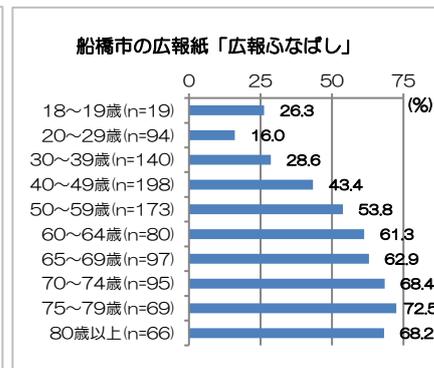
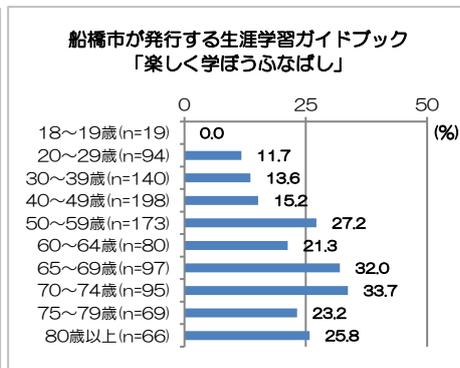
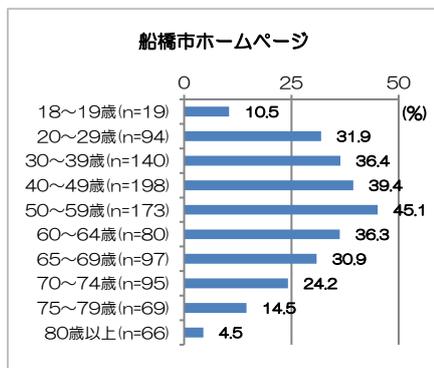
(Q8「今後、新たに学習を始めるとすれば、どのようなことを学習したいですか。(〇はいくつでも)」で「1」～「11」のいずれかをお答えの方に)

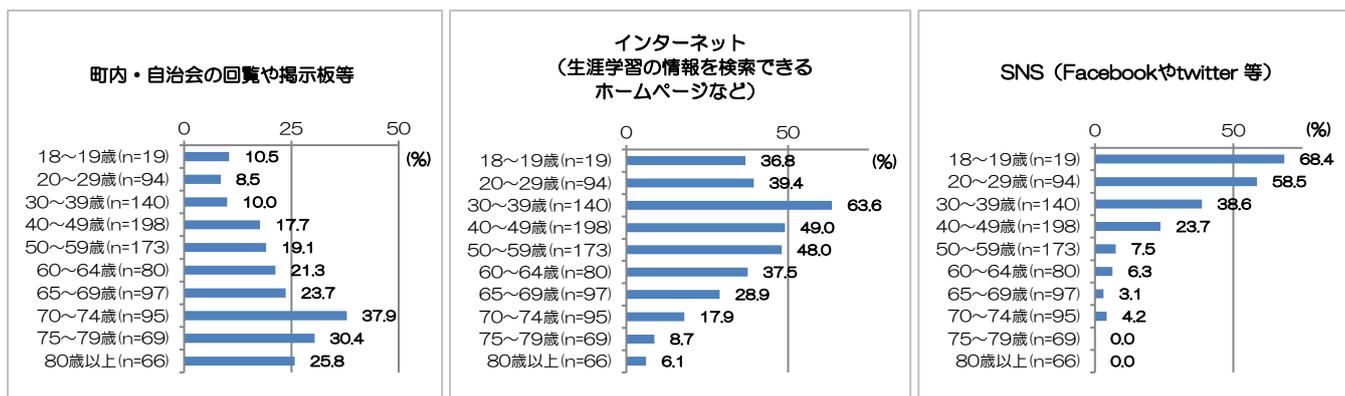
今後新たに学習をはじめたい内容がある人に、今後生涯学習に関する情報をどのような方法で得たいか聞いたところ、市全体では、「船橋市の広報紙『広報ふなばし』」が49.0%で最も割合が高く、次いで「インターネット(生涯学習の情報を検索できるホームページなど)(38.4%)」「船橋市ホームページ(32.2%)」の順に多く選択されました。

選択肢別にみると、「船橋市ホームページ」は20～60歳代の幅広い年代で多く選択されましたが、「船橋市が発行する生涯学習ガイドブック『楽しく学ぼうふなばし』」「船橋市の広報紙『広報ふなばし』」「町内・自治会の回覧や掲示板」等の紙媒体は比較的高い年代で多く選択され、若い年代では「インターネット(生涯学習の情報を検索できるホームページなど)」「SNS(Facebookやtwitter等)」等の電子媒体が多く選択されました。



【選択肢別】

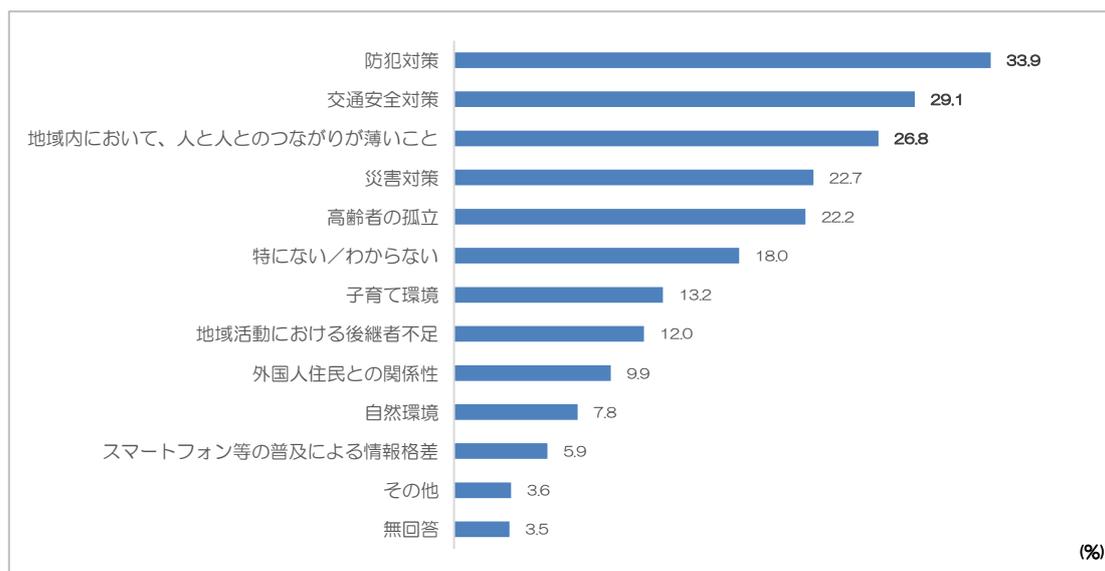




【Q9】あなたが、お住まいの地域について心配なことはなんですか。(〇はいくつでも) <n=1,263>

現在居住している地域について心配なことをきいたところ、「防犯対策」が33.9%で最も割合が高く、次いで「交通安全対策 (29.1%)」「地域内において、人と人とのつながりが薄いこと (26.8%)」の順に多く選択されました。

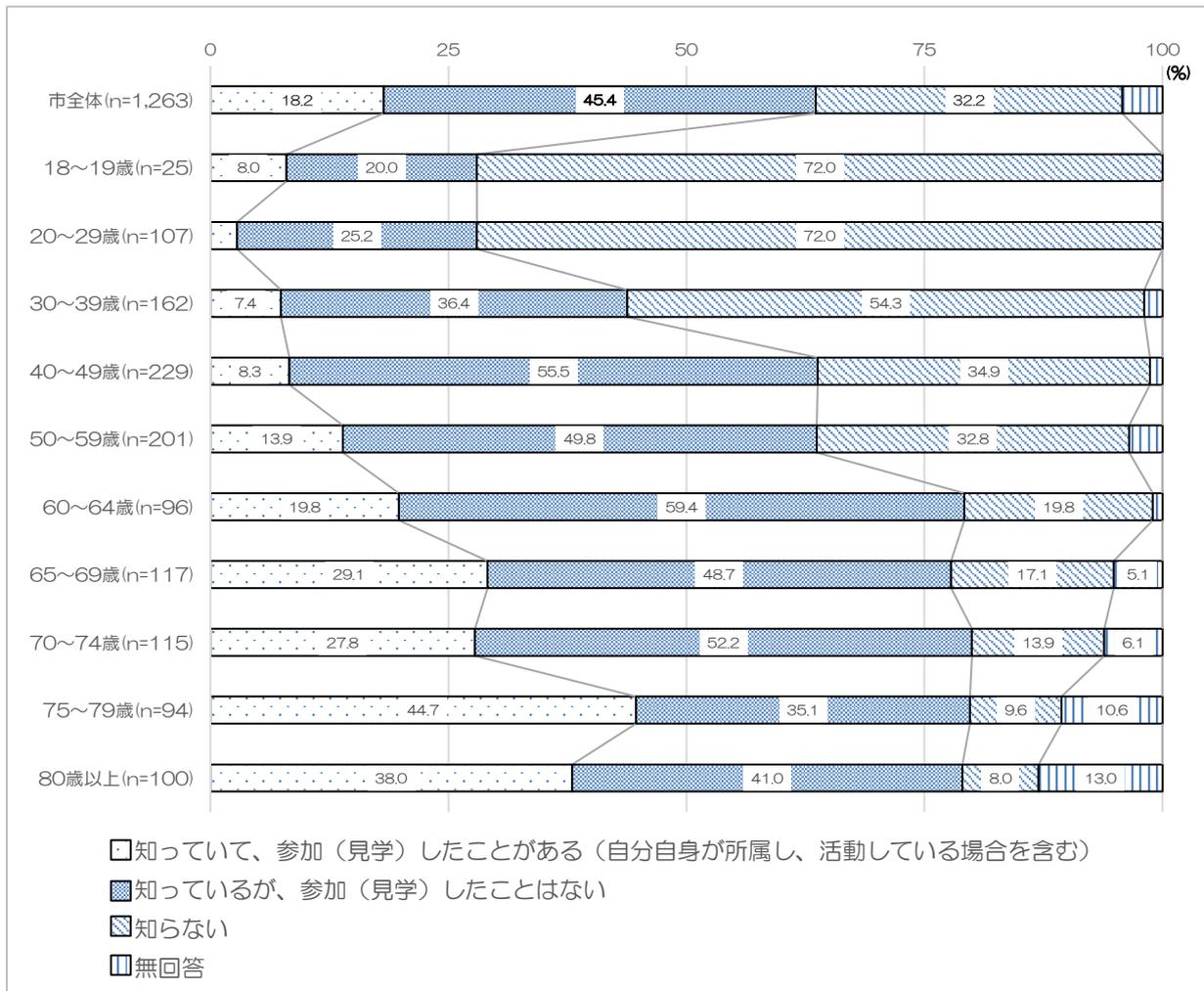
行政ブロック別の結果は、79~80ページ(「(3) 行政ブロック別『生涯学習に関するアンケート』結果(抜粋)」)に掲載しています。



【Q10】あなたは、公民館で様々な学習・活動分野のサークル活動が行われていることを知っていますか。
 (公民館でサークル活動している人の話を聞いたことがありますか) (〇は1つ)

公民館で行われているサークル活動について知っているか聞いたところ、市全体では、「知っているが、参加(見学)したことはない」が45.4%で最も割合が高く、次いで「知らない(32.2%)」「知っている、参加(見学)したことがある(自分自身が所属し、活動している場合を含む)(18.2%)」の順に多く選択されました。

年代別にみると、年代が低いほど「知っている」の割合が低くなる傾向がみられます。

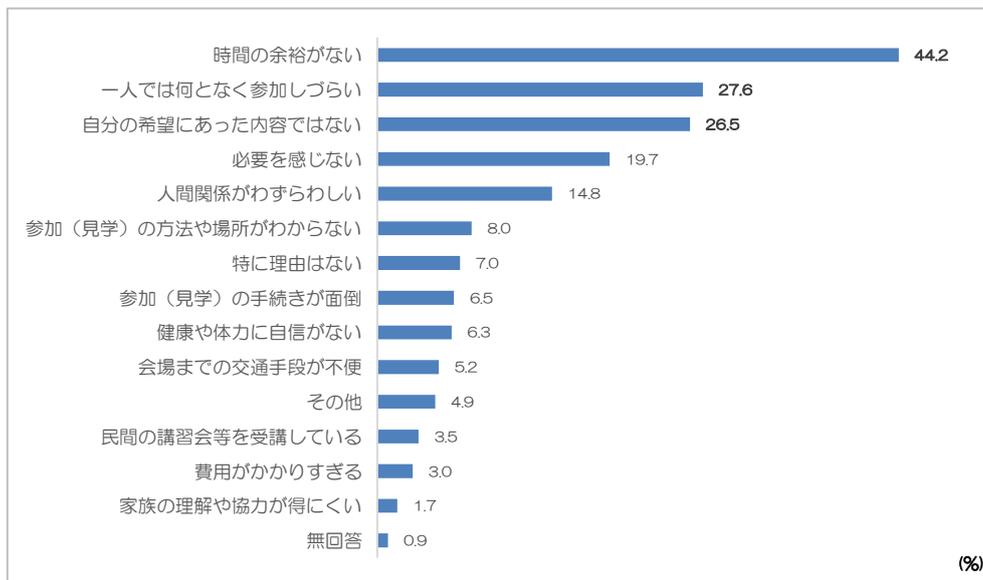


【Q10-1】 公民館のサークル活動に参加（見学）したことがない理由は何ですか。（〇は3つまで）

<n=573>

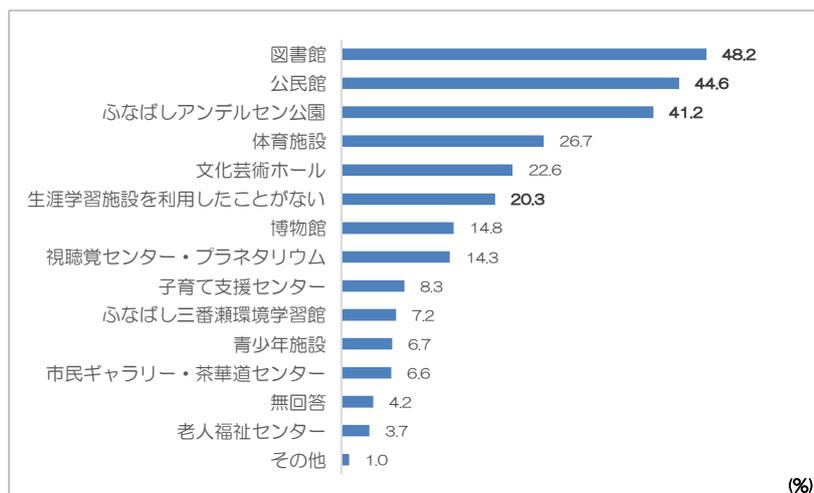
（Q10で「2 知っているが、参加（見学）したことはない」とお答えの方に）

公民館で行われているサークル活動について知っているが、参加（見学）したことはない人に、その理由をきいたところ、「時間の余裕がない」が44.2%と最も割合が高く、次いで「一人では何となく参加しづらい（27.6%）」「自分の希望にあった内容ではない（26.5%）」の順に多く選択されました。



【Q11】 あなたが利用したことがある生涯学習施設はどれですか。（〇はいくつでも） <n=1,263>

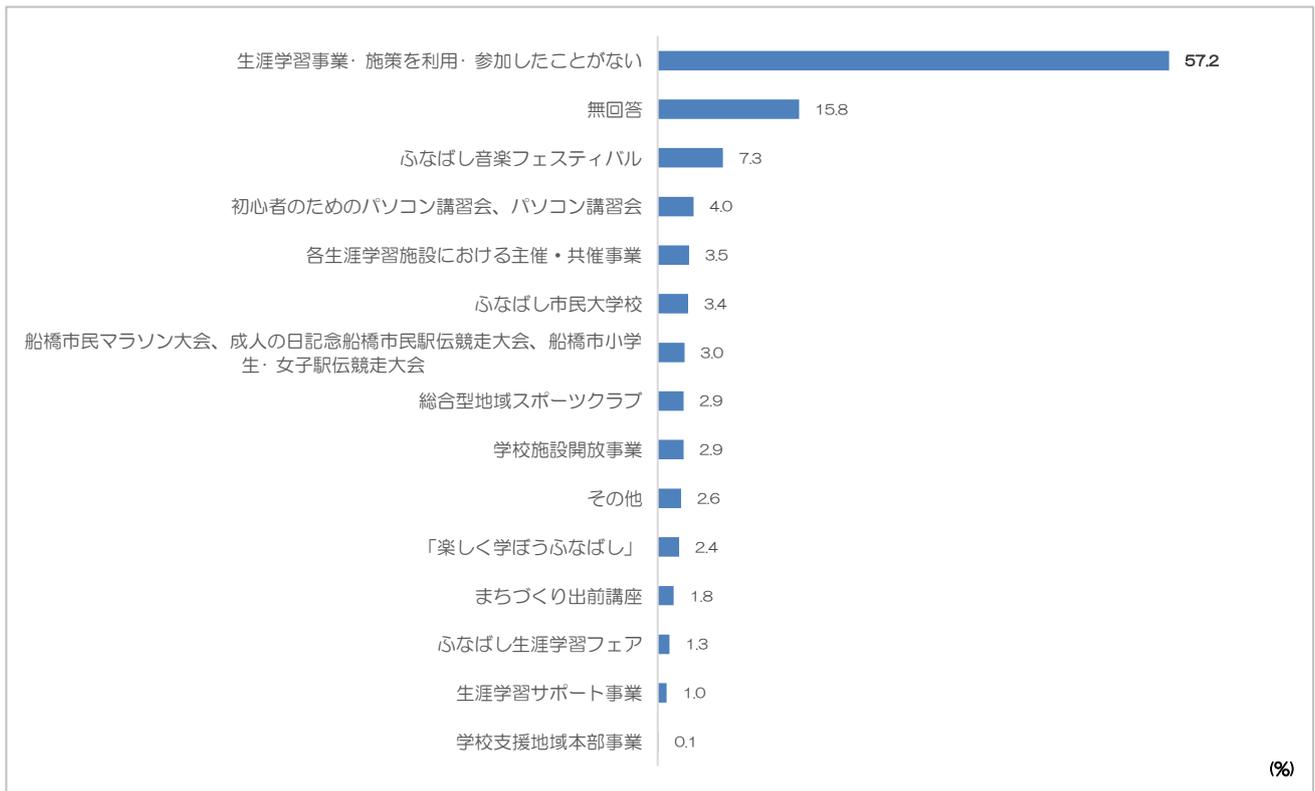
利用したことがある生涯学習施設をきいたところ、「図書館」が48.2%と最も割合が高く、次いで「公民館（44.6%）」「ふなばしアンデルセン公園（41.2%）」の順に多く選択されましたが、「生涯学習施設を利用したことがない」も20.3%選択されました。



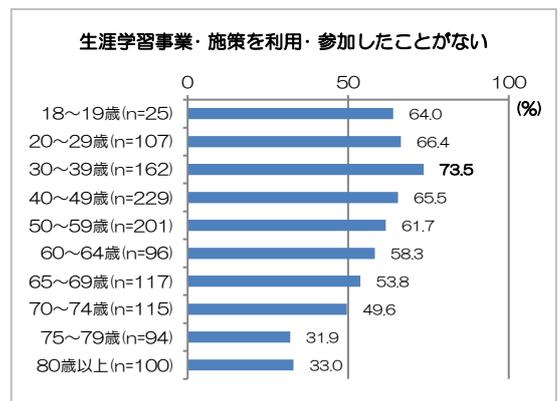
【Q12】 次のうち、あなたが知っていて、利用・参加したことがある船橋市の生涯学習事業・施策はどれですか。（〇はいくつでも） <n=1,263>

知っていて、利用・参加したことがある市の生涯学習事業・施策をきいたところ、市全体では、「生涯学習事業・施策を利用・参加したことがない（57.2%）」が最も高い割合で選択されました。

選択肢別にみると、「生涯学習事業・施策を利用・参加したことがない」は10～50歳代では60%を超え、特に30歳代で最も高く、73.5%でした。



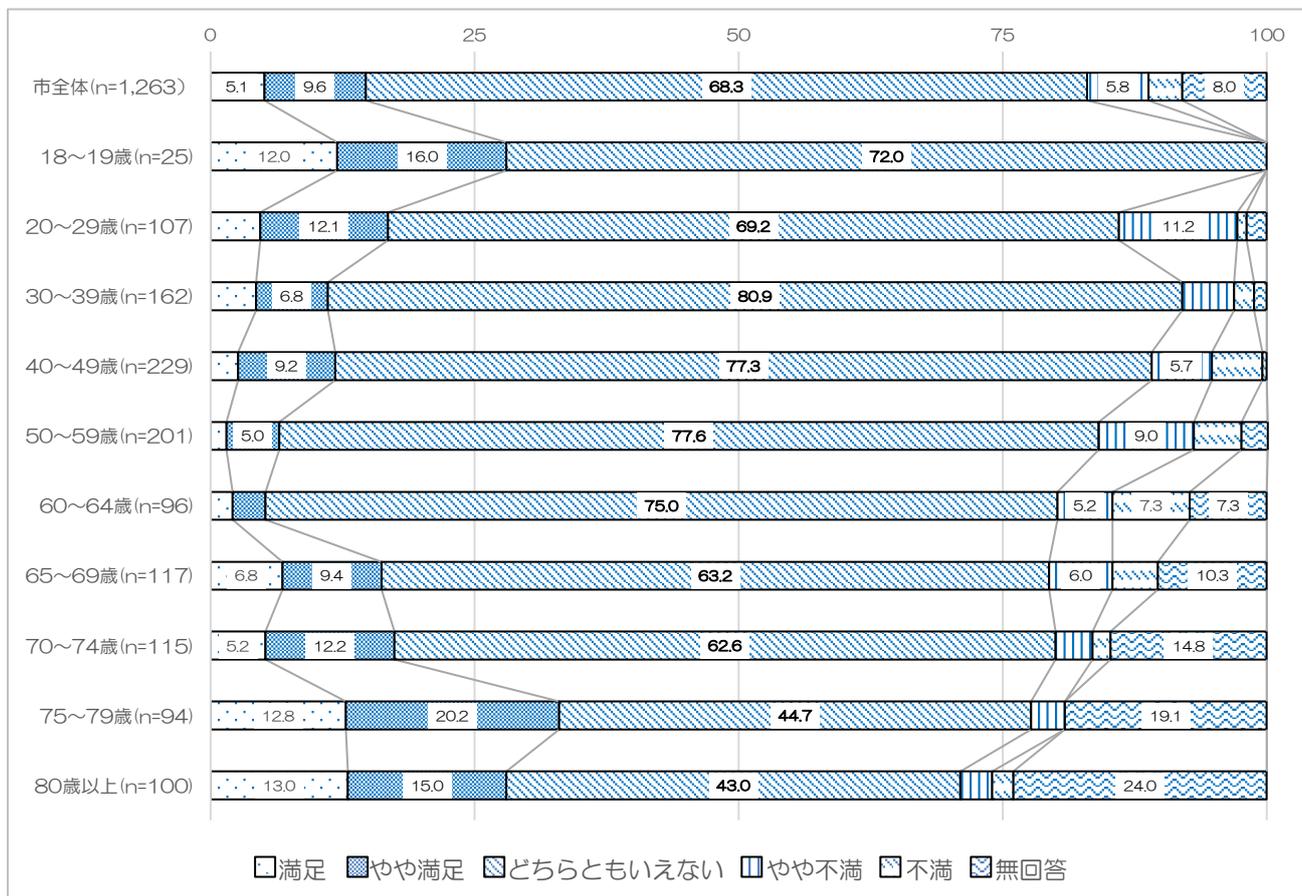
【選択肢別】



【Q13】あなたは、船橋市の生涯学習環境（施設、事業・施策など）にどの程度満足していますか。（〇は1つ）

市の生涯学習環境（施設、事業・施策など）への満足度をきいたところ、市全体では、「どちらともいえない（68.3%）」が最も多く選択されました。

年代別にみると、10～60歳代及び70歳代前半で、「どちらともいえない」が60%を超え、特に30歳代で最も高く、80.9%でした。



【Q14】船橋市の生涯学習施設や、生涯学習事業・施策へのご意見やご要望などがありましたら記入して下さい。

市の生涯学習施設や生涯学習事業・施策への意見・要望をきいたところ、「施設や環境を充実させてほしい」「参加しやすい方法を提供してほしい」「情報を発信してほしい」といった回答が寄せられました。

主な意見や要望	件数
施設や環境を充実させてほしい	65
参加しやすい方法を提供してほしい	42
情報を発信してほしい	42
「こんな」分野について学習や活動がしたい	41
本アンケートに関すること	19
学習や活動の内容の充実させてほしい	18
とくに関心がない、やりたくてもできない	10
施設の利用方法について	9

■アンケートから見える課題

※施策の内容は、36～52 ページに掲載

アンケート	課題	推進計画における対応施策
1 Q6 Q8-10	広報ふなばしでの情報発信に加え、SNS の活用やインターネットでの情報検索を可能にする等、 <u>情報提供方法の充実</u> が必要です。	I-3-1
2 Q6-1 Q7-7 Q7-8 Q8-1 Q8-3	生涯学習事業の <u>実施時間・方法の多様化</u> と、それに伴う生涯学習施設等における <u>相談機能の強化</u> が必要です。	I-1-1 I-3-3
3 Q7-3 Q8 Q8-2	<u>幅広い内容の生涯学習事業の実施</u> が必要です。	I-1 I-2 II-1 II-2
4 Q8-4 Q8-7	<u>学びの成果を活かして地域や社会で活躍したいと思っている人材・団体への支援</u> が必要です。	II-1
5 Q8-6 Q8-7 Q8-9	<u>学びの成果を活かすための情報提供</u> と、生涯学習施設等の <u>コーディネート機能の強化</u> が必要です。	II-3
6 Q9	<u>地域の課題</u> は多岐にわたるため、 <u>解決に向けた取組の支援</u> が必要です。	II-2-1
7 Q10 Q10-1	公民館で活動するサークルに関する <u>情報提供</u> について、方法と内容の充実による <u>サークル参加への支援</u> が必要です。	I-3-1 I-3-3
8 Q11 Q12 Q13	生涯学習施設・事業・施策の利用・参加を促進し、市の <u>生涯学習環境の満足度をあげる</u> ことが必要です。	I-3